



広告新時代への挑戦！ Challenge to the Next Stage

大阪屋外広告美術協同組合
副理事長 小野 信行

来る6月13日(休)~15日(金)の3日間、大阪南港ATCホールにて、「SIGN EXPO 2012」(第27回 広告資機材見本市)が開催されます。今年のテーマは「広告新時代への挑戦!」です。

昨年は震災の影響で開催中止も検討致しましたが、関西から元気を発信するためにも開催するべきだとのお声が多く、東日本支援の一助となればと開催に踏み切りました。防災、防災、エコ関連等の商材も多くご出展頂き、ここ数年のLEDの普及により業界にも新しい波が押し寄せて参りました。今年、インテックスで同時開催のJP展とのコラボや、新たにデジタルサイネージ関連の業態にも参画して頂く予定をしています。

全国的な経済状況としては東北を中心に復興需要が拡大し、パソコン、スマートフォン、デジタル家電などの市場が早い回復を見せたほか、年末には衣料品の売れ行きも好調でした。今後は住宅、施設等の建設関連も動き出すことでしょう。しかし、日本の家計所得はこの10年間下がり続けています。また、震災後の消費力も減少しているのが現状です。業界においても、震災から数カ月間、広告自粛によって日本の街から広告が消えました。広告がなくなることで街に活気がなくなり、緊迫した違和感を覚えたようにも思います。この経験によって、広告費に対する投資効果や節電等も非常に大切なことだと感じましたが、一方で日本を元気に活性化するという側面から見れば、広告の存在そのものが人々の生活にとってとても大切だったということも改めて実感致しました。

そして、東日本大震災から1年が過ぎました。

「あの日、最愛の人にさよならも言えずに亡くなられた方々の無念さを思わずにいられません。追悼の思いを復興への決意に変え、すべての国民が力を合わせて復興を通じた日本再生という歴史的な使命を果たしていかなければならないと思います。集中復興期間は5年、復興のめどは10年です。1年は復興の長い道のりの一里塚でしかありません。震災直後に生まれた赤ちゃんが10歳の誕生日を迎えるまでには、必ずや被災地の復興を成し遂げ、力強くよみがえった故郷の姿を見せたいと思います。」と野田総理大臣が言われた言葉が私の胸に刻まれています。あの日を忘れないことが最大の御供養であり、震災の記憶と教訓を未来に語り継いでいくことが重要だと思えます。

今後、震災を経験した日本の広告業界においては、新たな情報発信の方法や提供の場が求められています。これからはSNSに代表するFacebook等のソーシャルメディアが大変大きな影響を与えていくことも事実です。日々進化する情報社会の中で、広告業界の体系も大きく変わろうとしているようにも思います。

この業界の新時代を切り開く為にも、近広連主催の「SIGN EXPO 2012」が広告業界の先駆者としての役割を担い、広告新時代に挑戦し続けていきたいと思っております。

今後とも、当組合への皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

平成24年大広協新年祝賀会.....	3
第20回屋外広告士試験合格者.....	3
平成23年度技能検定試験合格者.....	3
近広連第57回定時総会.....	4
大広協第48回通常総会のご案内.....	4
日広連第57回通常総会.....	5
全国屋外広告士会連合会第16回通常総会.....	5
第54回日広連全国大会のご案内.....	6

委員会だより.....	7
青年部だより.....	10
OK会結果報告.....	10
行政からのお知らせ.....	12
JAPAN SHOP 2012見聞記.....	12
組合員のうごき.....	13
事務局だより.....	13
あとがき.....	13

広告目次

協和電工株式会社.....	表4
東西電気産業株式会社.....	6

新和興業株式会社.....	11
株式会社セイカ・セリグラフィ.....	表3